

## 「洛西ニュータウンアクションプログラムまちづくりトーク」開催結果報告資料

### 1 まちづくりトークの概要

- (1) 日 時 平成28年8月28日(日) 午前10時から12時まで
- (2) 場 所 洛西支所2階第会議室
- (3) 対象者 洛西ニュータウンやその周辺地域(洛西支所管内)にお住まいの方あるいは活動を行われている事業者・団体など
- (4) 参加人数 関係者含めて約70人
- (5) 実施主体 洛西ニュータウンアクションプログラム検討会

### 2 当日の状況

8月28日(日)に、地域住民、事業者の方々を対象に、「洛西ニュータウンアクションプログラムの検討状況の報告」及び「各分野におけるまちづくりの方向性」について意見を集めるために開催しました。

意見交換は、各分野毎にテーブルに分かれ、それぞれ検討状況を報告したうえで「継続すべきこと(Keep)」「課題(Problem)」「試したいこと(Try)」について意見を述べていただくというワークショップ形式で行いました。

地域住民、事業者の方々等関係者を含めて約70人もの方に雨の中参加いただき、各分野において、未来志向で積極的な意見が多く出されました。

### 3 主な意見(分野グループ毎)

- (1) ツーリズム、魅力向上、情報発信  
洛西ニュータウンの自然環境や大原野での様々な取組とも連携し、アウトドアを楽しめる公園(竹林公園ほか再整備など)や情報ステーション(英語も)、地産地消のレストランの立地誘導などの取組とともに、バス交通の利便性向上などについても意見が出されました。
- (2) タウンセンター、サブセンター施設検討  
サブセンターの活性化が重要であることから、会館のバリアフリー化や料金減額、公民館化して集いやすい場所にしたいという意見とともに、サブセンターとタウンセンターともに夜のにぎわいづくりの必要性等について意見が出されました。
- (3) 子育て支援、ソーシャルワーキング  
十分に活かしていない公園や緑を再整備し、これを活用した子育て環境としての魅力アップや、病児保育の実現、魅力発信、地産地消の給食など実施してはどうかという意見が出されました。
- (4) 高齢者の居住支援  
公園、居場所、医療機関、サークル活動などが充実する反面、バス交通の不便や食事できる場所がないといった課題があり、コミュニティバスの運行や一人暮らし男性の料理教室、二世帯近居の必要性等について意見が出されました。
- (5) 住まい  
ゆったりとした住環境が評価されている中で、空き家の増加、子育て層向けの住宅がないことが指摘されており、公営住宅への若年世代の入居促進やニュータウン内での住み替え促進、多世代が住める仕組みなどの意見が出されました。